

令和6年8月1日

令和6年度「物流業界研究 Web セミナー」を開催

～550名の学生が参加し、物流業界への理解を深めました～

(一社)日本物流団体連合会(真貝康一会長)では、平成26年9月(2014年9月)より、主に就職活動を控える学生に、「物流業の社会的重要性や先進性などに対する理解を深め、業界の魅力を感じてもらおうこと」を目的として、毎年夏に「物流業界インターンシップ」を開催してまいりましたが、学生の就職活動の早期化に対応するため、今年度より開催時期や運営方法の見直しを行いました。その内容としては、主にインターンシップや仕事体験の参加を目的とする若い世代(大学生)を対象とし、従来の目的に対して、「インターンシップや仕事体験に参加する物流企業を発見する機会を提供すること」を新たな目的として加えたうえで、今年度は「物流業界研究 Web セミナー」を開催いたしました。

装いも新たに実施した「物流業界研究 Web セミナー」は、Web形式で計3回開催し、6月に1回、7月に2回実施しました。

1回目は6月19日に会員企業27社と共同で開催し、学生162名が参加。2回目は7月4日に会員企業28社と共同で開催し、学生207名が参加。3回目は7月20日に会員企業20社と共同で開催し、学生209名が参加いたしました。

合計では出展企業は34社、参加学生数は578名(重複者除く550名)となり、昨年実施した「物流業界インターンシップ」と比較すると、200名以上の増加となりました。

冒頭に河田理事長の開会挨拶に続き、山田事務局長より当日参加する各社の特徴等を含めた「物流業界の現状と未来、求める人材像」と題した講演を行いました。その後、会員企業による企業説明を全10クールの中で毎回4～6社が別回線にて実施し、学生は自由に企業ルームへ入室し、会社概要や事業内容、インターンシップ等の様々な情報を収集していました。また特別プログラムとして、会員企業の若手社員で構成された「物流いいところみつけ隊」による『トークセッション』では、物流業界を目指した志望動機や仕事のやりがい、経験談が披露され、生の声を学生に伝える機会となりました。また、新たな取組みとして、事前に質問を集め当日投票で決まった質問に答える『投票形式ぶっちゃけ質問会』を実施し、普段直接質問しにくいような質問も選ばれ、各企業のリアルな事情を知ることができる機会となりました。

当連合会では引き続き、「物流を等身大で見てください」取り組みを行い、物流業界で活躍する人材の獲得・育成を目指して、さまざまな活動を進めてまいります。

(一社)日本物流団体連合会
物流業界研究セミナー 事務局 黒田



河田理事長 開会の挨拶



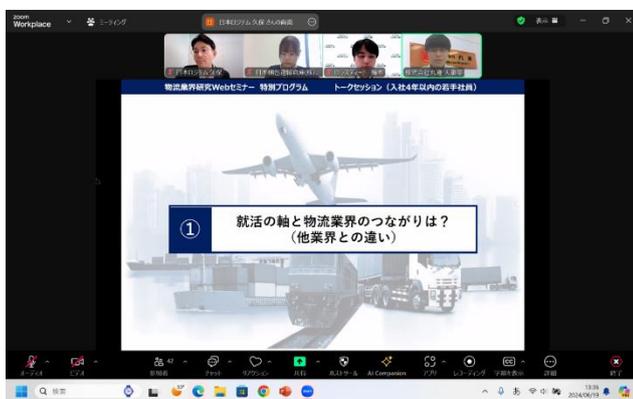
山田事務局長 講演会



各企業説明風景



各企業説明風景



トークセッション 風景



【投票形式】ぶっちゃけ質問会 風景